

アンケート集計統合ツール
田園 V3 操作マニュアル

Ⅱ 設問設定操作編



テクノフロー株式会社

目次

目次.....	2
はじめに.....	1
第 1 章 設問設定の概要.....	2
1. 操作の流れ.....	2
2. 設問設定のファイルについて.....	4
3. 保存するときのファイル形式について.....	5
第 2 章 設問の設定.....	6
1. 設問設定作成編集ウィンドウについて.....	6
2. 設問番号、設問記号、設問項目の入力.....	8
設問番号の入力.....	8
設問記号の入力.....	9
設問項目の入力.....	9
3. 設問形態別設定方法の詳細.....	10
単数回答設問の設定－Q1.....	10
複数回答設問の設定－Q5.....	11
数量設問の設定－Q6.....	12
自由回答設問の設定－Q4-1.....	13
以前の設問・選択肢をコピーする－Q3.....	15
同一設問内での重複禁止選択肢の設定-Q4-1.....	17
設問間での重複禁止の設定－Q2.....	19
重複強制の設定－Q4-2.....	22
該当チェックの設定.....	24
4. 設問の挿入・修正・削除.....	26
設定済み設問の修正.....	26
設定済み設問の削除.....	27
設問の挿入.....	29
選択肢の挿入.....	31
選択肢の削除.....	32
第 3 章 手作業による再構成.....	33
1. [設問設定]シートの編集.....	34
2. [設問・選択肢一覧]シートによる設問設定の確認.....	38
3. [データ入力フォーム]シートの再作成.....	40
[データ入力フォーム]シートの内容.....	41
4. [ソースデータ]シートの再作成.....	43

はじめに

「田園 V3」は Microsoft Excel を使用して、アンケートの設問の設定、回収したアンケートのデータ入力、複雑な集計を簡単に行うためのツールです。

この分冊では、アンケートの設問設定の方法を説明しています。設問設定を行うことにより、集計機能でさまざまな集計が可能になります。次のようなアンケートを集計すると仮定して説明します。

このたびは、弊社のレトルトカレー「オイシカレースペシャル」を購入して頂きましてありがとうございます。お手数ですが、以下のアンケートにお答えください。

Q1. 「オイシカレースペシャル」を買われたのは、今回で何回目ですか？

1. はじめて 2. 2回目 3. 3回目 4. 4回目 5. 5回目以上

Q2. なぜ「オイシカレースペシャル」を購入していただけましたか？
もっともあてはまるものから順に3つ選んでください。

1. 前回食べておいしかったから 2. 店で試食をしておいしかったから
3. 値段が安かったから 4. お店の人に勧められて
5. 友人に勧められて 6. 評判が良かったから
7. パッケージが気に入ったから 8. TVコマーシャルを見て

Q3. 「オイシカレー」の感想はいかがでしたか？あてはまるものをそれぞれ選んでください。

満足 やや満足 普通 やや不満 不満

Q3-1 値段 - 1 - 2 - 3 - 4 - 5 -
Q3-2 具の量 - 1 - 2 - 3 - 4 - 5 -
Q3-3 ルーの量 - 1 - 2 - 3 - 4 - 5 -
Q3-4 味(辛さ) - 1 - 2 - 3 - 4 - 5 -
Q3-5 全体 - 1 - 2 - 3 - 4 - 5 -

Q4. Q3-5. で「4 (やや不満)」または「5 (不満)」と答えた人におたずねします。

Q4-1. どこをどう改善すればいいと思いますか？(複数回答可)

1. もっと味を濃くする 2. もっと味をマイルドにする
3. もっと具の量を増やす 4. もっと具の種類を増やす
5. ルーの内容量を増やす 6. 「甘口」「中辛」など味の種類を増やす
7. その他 ()

Q4-2. 「Q4-1」で選択された理由のうち、最も重要だと思うものをひとつ選んでください。

Q5. 普段よく買われる簡単調理食品を選んでください。(3つまで)

1. レトルトカレー 2. レトルトスパゲッティ 3. レトルトやきそば
4. レトルトおでん 5. 冷凍クロquette 6. 冷凍ハンバーグ
7. 冷凍ピラフ 8. 冷凍ポテトフライ 9. 冷凍魚フライ
10. インスタント麺 11. インスタントやきそば 12. インスタントうどん・そば
13. その他 ()

Q6. 年齢 () 歳 Q7. 性別 1. 男性 2. 女性

ありがとうございました。

単数回答設問の設定
(10 ページ参照)

重複禁止の設定
(17、19 ページ参照)

設問や選択肢を流用して設定
(15 ページ参照)

自由回答設問の設定
(13 ページ参照)

重複強制の設定
(22 ページ参照)

複数回答設問の設定
(11 ページ参照)

数量設問の設定
(12 ページ参照)

このアンケートは架空のものです。実在の商品とは関係ありません。また紙面の都合上、回答欄は省略しています。

第 1 章 設問設定の概要

1. 操作の流れ

設問設定は、次のように行います。

1 Excel を起動します

2 田園 V3. xla を開きます

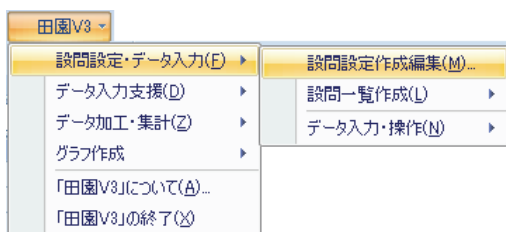


- Excel の[アドイン]タブに[田園 V3]メニューが表示されます。
 - Excel 2003 の場合は、メニューバーに[田園 V3]メニューが追加されます。
 - アドインとしてインストールしている場合は、この操作を行わなくても田園の機能を利用できます。
- ④ アドインとしてインストールする方法については、『I お使いになる前に』を参照してください。

3 設問設定用のファイルを開きます

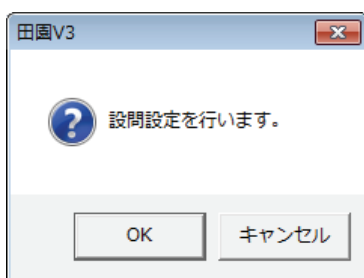
- 設問設定ファイルを再編集する場合は、保存した設問設定ファイルを開きます。
- 新規に設問設定ファイルを作成する場合は、手順 4 で自動的にファイルが作成されますので、この操作は行いません。

4 設問設定を行うウィンドウを表示します





- ① [田園 V3]メニュー-[設問設定・データ入力]-[設問設定作成編集]を選択します。

- ② 「設問設定を行います。」というメッセージが表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。




5

- ① 設問番号、設問記号、設問項目を入力します。
( 8 ページ)
- ② 設問を入力します。( 10 ページ)
- ③ 手順①～②を繰り返して、必要な設問を設定します。

必要に応じて設問の挿入・修正・削除を行うこともできます。(26 ページ)

6


- ウィンドウの  [閉じる] ボタンをクリックします。


7

- [名前を付けて保存]の機能で、Excel ブック(.xlsx) または Excel 97-2003 ブック(.xls)として保存します。

必要に応じて、手作業で次の操作を行うこともできます。

[設問設定]シートの構成  34 ページ

「データ入力フォーム」シートの構成  40 ページ

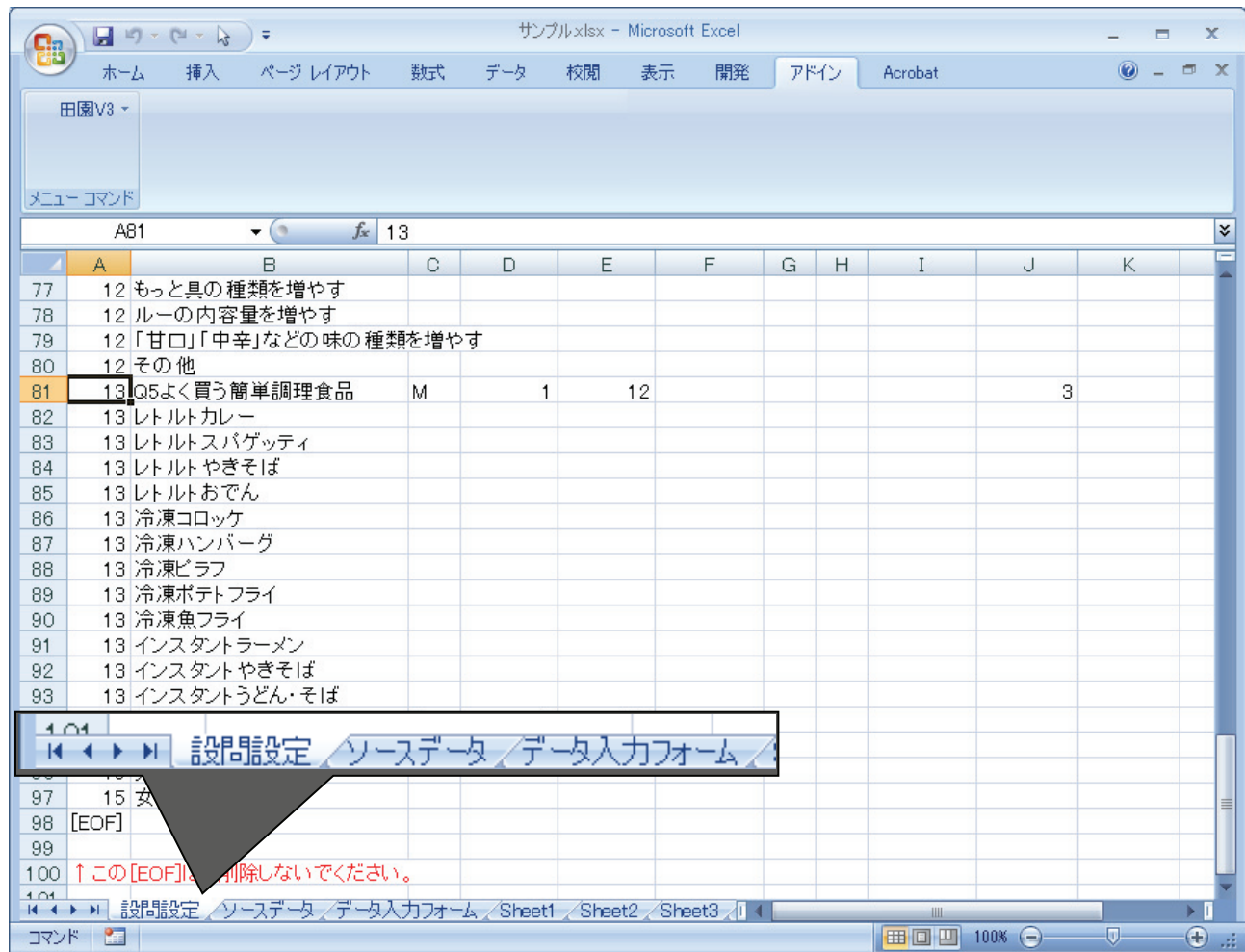
[ソースデータ]シートの再作成  43 ページ

2. 設問設定のファイルについて

設問設定の操作を行うと、[設問設定]シート、[データ入力フォーム]シート、[ソースデータ]シートの3つのシートからなるファイルが作成されます。



ワークシートの変更してはいけません。
集計ができなくなります。



- [設問設定]シート
各設問の設問文や選択肢、設問間の関連などを定義したワークシート。
- [データ入力フォーム]シート
データ入力を行うためのワークシート。このシートにより、データ入力を簡単に行うことができます。
- [ソースデータ]シート
入力したデータが最終的に記載されるワークシート。
データ加工や集計作業は、このシートを対象に行う。

3. 保存するときのファイル形式について

Excel ブック形式(.xlsx)または Excel97-2003 ブック形式(.xls)で保存します。

第2章 設問の設定

1. 設問設定作成編集ウィンドウについて

設定方法は、この後の節で詳しく説明していますが、その前に「設問設定作成編集」ウィンドウの各項目の設定内容を説明しておきます。

設問設定作成編集

選択肢を入力してください。
<Enter>キーで選択肢をスクロールできます。コントロールの移動は、<TAB>キー、またはマウスで行ってください。

番号(N): 1 決定(A) 設問記号(B): Q1 以前の設問・選択肢をコピーする(C)

設問項目(Q): 購入回数

設問形態
SA MA IN FA 選択可能選択肢数(E): 0

選択肢
1 はじめて
2 2回目
3 3回目
4 4回目
5 5回目以上
選択肢の数: 5 選択肢挿入(R) 選択肢削除(D)

重複禁止(V)
連番: 変更(K)

重複強制(J)
連番: 変更(Z)

該当チェックする(P)
連番: 変更(H)
選択肢番号:

重複禁止選択肢(S)
連番: 変更(Y)

入力範囲
最小値(U): 最大値(X): 新規追加(G) クリア(L) 閉じる

番号	各設問を区別する番号で、1から始まる連番でなければなりません。 (☞ 「設問番号の入力」8 ページ)
設問記号	アンケート用紙に印刷された、各設問を区別する「Q1」「Q2」などの番号のことです。 (☞ 「設問記号の入力」9 ページ)
設問項目	設問本文です。できるだけ簡潔な文にします。 設問項目は省略できません。 (☞ 「設問項目の入力」9 ページ)
設問形態	設問の種類を次の4種類から選択します。 (☞ 「3. 設問形態別設定方法の詳細」10 ページ) 「SA」 選択肢から単数回答 (Single Answer) する設問です。 「MA」 選択肢から複数回答 (Multi Answer) する設問です。 「IN」 数量回答 (Integer) の略。具体的な数値で回答する設問です。Integer とは本来「整数」という意味ですが、「田園 V3」では小数も入力・集計できます。 「FA」 自由回答 (Free Answer) の略。具体的な言葉を入力して回答する設問です。

選択肢	実際の選択肢です。「カテゴリー」とも言います。選択肢の番号は自動的にふられますので、選択肢文の中に選択肢番号を入れる必要はありません。選択肢が5つを越えるような場合でも、選択肢を入力する最も下の行にカーソルがある状態で「Enter」キーを押せば、選択肢が上向きにスクロールします。また、右側のスクロールバーで選択肢を上下にスクロールすることも可能です。
[選択肢挿入]	選択肢と選択肢との間に、新たな選択肢を割り込ませるのに使います。 (☞ 「選択肢の挿入」31 ページ)
[選択肢削除]	すでに記入されている、途中の選択肢を削除するのに使います。最後の選択肢は、このボタンでは削除できません。最後の選択肢は、選択肢の文字列を「Delete」キーなどで消すことによって削除となります。 (☞ 「選択肢の挿入」31 ページ)
選択可能選択肢数	複数回答(MA)において、回答できる数が限られている場合に使います。回答できる数が限られていない場合は使いません。 (☞ 「複数回答設問の設定-Q5」11 ページ)
入力範囲	数値回答(IN)において、入力することのできる範囲を指定します。データは整数および実数(小数)が入力できます。文字は入力しないでください。何も指定しない場合は、自動的に最小値が 0、最大値が 100 になります。 (☞ 「数量設問の設定-Q6」12 ページ)
[以前の設問・選択肢をコピーする]	すでに入力済みの設問や選択肢を、これから入力しようとする設問にコピーする際に使用します。同様の設問文や選択肢を何度も入力するのが面倒な時に便利です。 (☞ 「以前の設問・選択肢をコピーする-Q3」15 ページ)
重複禁止	異なる設問で同じ選択肢を回答することを禁止する設定を行います。 (☞ 「同一設問内での重複禁止選択肢の設定-Q4-1」17 ページ)
重複強制	異なる設問の回答に同じ選択肢が必ず含まれていなければならない、という設定を行います。 (☞ 「重複強制の設定-Q4-2」22 ページ)
該当チェックする	設問に該当チェックをかけたい時に指定します。チェックマークをオンにすると、自動的に該当設問を設定するウィンドウが開きます。 (☞ 「24 該当チェックの設定」24 ページ)
重複禁止選択肢	設定中の設問で、ある選択肢を選択しているときには選択できない選択肢を指定します。 (☞ 「同一設問内での重複禁止選択肢の設定-Q4-1」17 ページ)
[新規追加]	クリックすると、設定した内容が[設問設定]シート、[データ入力フォーム]シートおよび[ソースデータ]シートに追加されます。
[変更適用]	設問を修正等のために番号を指定して設定済み設問を呼び出したときに[新規追加]ボタンの代わりに表示されます。設問の内容を変更してクリックすると、[設問設定]シート、[データ入力フォーム]シートおよび[ソースデータ]シートに変更が反映されます。
[クリア]	クリックすると、「設問設定作成編集」ウィンドウで設定中の内容を破棄し、設問の設定をやり直すことができます。
[設問削除]	番号を指定して設定済み設問を呼び出したときに[クリア]ボタンの代わりに表示されます。クリックすると、設問削除の確認メッセージが表示され、[はい]ボタンをクリックすると、その設問が削除されます。[設問設定]シート、[データ入力フォーム]シートおよび[ソースデータ]シートにも削除が反映されます。
[閉じる]	クリックすると、「設問設定作成編集」ウィンドウが閉じます。

2. 設問番号、設問記号、設問項目の入力

この節では、「設問設定作成編集」ウィンドウで設問を設定する方法を、設問の形態別に説明します。
(☞ 「設問設定作成編集」ウィンドウを表示する方法は、前ページを参照してください。)

設問設定作成編集

「設問記号」は半角で、「設問項目」は全角で入力してください。
コントロールの移動は、<TAB>キー、<Enter>キー、またはマウスで行ってください。

番号(N): 1 決定(A) 設問記号(B): Q1 以前の設問・選択肢をコピーする(C)

設問項目(Q): 購入回数

設問形態
SA MA IN EA 選択可能選択肢数(E): 0

選択肢
1
2
3
4
5

選択肢数: 選択肢挿入(R) 選択肢削除(D)

☐ 重複禁止(V)
連番: 変更(K)

☐ 重複強制(J)
連番: 変更(Z)

☐ 該当チェックする(P)
連番: 変更(H)
選択肢番号:

☐ 重複禁止選択肢(S)
連番: 変更(Y)

入力範囲
最小値(U): 最大値(X): 新規追加(G) クリア(L) 閉じる

設問番号の入力

各設問を区別するための番号です。1から始まる連番でなければなりません。
次の操作で、連番になるように設定済みの番号の次の番号を割り当てることができます。

① [番号]フィールドにカーソルを置いて、[決定]ボタンをクリックします。または[Enter]キーを押します。

- 番号を入力して、[Enter]キーを押すか、[決定]ボタンをクリックしてもかまいません。この場合、番号が間違っても、番号が連番になるように自動的に設定済みの番号の次の番号が割り当てられます。
- 設問の内容を変更するときには、この番号で呼び出します。
(☞ 「設定済み設問の修正」26 ページ)

設問記号の入力

アンケート用紙で、各設問を区別している番号のことです。P. 1 のアンケート用紙では、「Q1」「Q2」がそれにあたります。設問番号は自動的に番号が入りますので、そのままにしておくか、都合が悪い場合は変更します。

設問記号は、必ず半角文字を用います。

設問記号は省略できません。

① [設問記号]フィールドに半角英数字で記号を入力します。

- 「Q2」を「Q2-1」などに変更することができます。
- 例えば「Q2-1」に設定した場合、その次は自動的に「Q2-2」、さらにその次は「Q2-3」が自動的に採番されます。
- 設問記号を「Q2:1」に変更した場合は、「Q2:2」「Q2:3」と採番されます。すなわち、番号のセパレータには数字以外の任意の文字を使用できます。

設問項目の入力

設問本文です。データ入力や集計を行うときに、設問の内容が分かるようにするためのもので、実際のアンケート用紙に印刷された文章の合わせる必要はありません。設問の持つ意味合いや内容を端的に表す、できるだけ簡潔な文を入力します。

設問項目は省略できません。

① [設問項目]フィールドに、設問の持つ意味合いや内容を端的に表す文を入力します。

- 集計では、先頭の 12 文字を使って処理が行われますので、12 文字以内の文にすることをお勧めします。

3. 設問形態別設定方法の詳細

この節では、「設問設定作成編集」ウィンドウで設問を設定する方法を、設問の形態別に説明します。

単数回答設問の設定－Q1

選択肢の中からひとつだけ選択する設問を設定します。

例：

Q1. 「オイシカレースペシャル」を買われたのは、今回で何回目ですか？

1. はじめて 2. 2回目 3. 3回目 4. 4回目 5. 5回目以上

The screenshot shows the '設問設定作成編集' (Question Setting Creation/Editing) window. It contains the following elements and annotations:

- Annotation 1:** Points to the '番号(N):' field containing '1', the '決定(A)' button, the '設問記号(B):' field containing 'Q1', and the '以前の設問・選択肢をコピーする(C)' button.
- Annotation 2:** Points to the '設問項目(Q):' field containing '購入回数'.
- Annotation 3:** Points to the '設問形態' group box, which includes radio buttons for SA (selected), MA, IN, and EA.
- Annotation 4:** Points to the '新規追加(A)' button at the bottom right of the window.
- Other visible elements:** A list of choices (1: はじめて, 2: 2回目, 3: 3回目, 4: 4回目, 5: 5回目以上), a '選択肢の数: 5' label, and various checkboxes like '重複禁止(V)', '重複強制(K)', and '該当チェックする(P)'.

① [番号]、[設問記号]、[設問項目]を設定します。

② [設問形態]グループから[SA]を選択します。

③ 選択肢を順に入力します。

- 選択肢を 2 つ以上入力しないと、[新規追加]ボタンはクリックできません。

④ [新規追加]ボタンをクリックします。

設定内容が[設問設定]シート、および[データ入力フォーム]シートに追加されます。また、[ソースデータ]シートにデータを転記するための列が追加されます。

複数回答設問の設定－Q5

選択肢の中から複数個の選択肢を同時に回答してもよい場合の設問を設定します。
必要に応じて、回答できる最大数を設定できます。

例：

Q5. 普段よく買われる簡単調理食品を選んでください。(3つまで)

- | | | |
|----------------|----------------|------------------|
| 1. レトルトカレー | 2. レトルトスパゲッティ | 3. レトルトやきそば |
| 4. レトルトおでん | 5. 冷凍コロッケ | 6. 冷凍ハンバーグ |
| 7. 冷凍ピラフ | 8. 冷凍ポテトフライ | 9. 冷凍魚フライ |
| 10. インスタントラーメン | 11. インスタントやきそば | 12. インスタントうどん・そば |

※ 設問設定の考え方

この例では、最初に「Q5」の設問として 13 個の選択肢を持つ複数回答設問を設定します。
そして、選択肢 13 の「その他」を選択した場合の文字による回答は、「自由回答設問の設定－Q4-1」
([Q4-1](#) 13 ページ)と同様の方法で自由回答設問「Q5-1」を設定してください。

① [番号]、[設問記号]、[設問項目]を設定します。

② [設問形態]グループから[MA]を選択します。

③ 選択肢を順に入力します。

- 選択肢を 2 つ以上入力しないと、[新規追加]ボタンはクリックできません。

④ [選択可能選択肢数]を設定します。

- 入力している選択肢の数を超えて設定することはできませんので、すべての選択肢を入力した後で設定します。
- いくつ回答してもよい場合は、0 のままにしておきます。

⑤ [新規追加]ボタンをクリックします。

設定内容が[設問設定]シート、および[データ入力フォーム]シートに追加されます。また、[ソースデータ]シートにデータを転記するための列が追加されます。

数量設問の設定－Q6

具体的な数値を回答する場合の設問を設定します。

例：

Q6. 年齢 () 歳

The screenshot shows the '設問設定作成編集' (Question Setting/Editing) dialog box. It contains the following elements and annotations:

- Annotation 1:** Points to the '番号(N):' field with value '14', the '決定(A)' button, the '設問記号(B):' field with value 'Q6', and the '設問項目(Q):' field with value '年齢'.
- Annotation 2:** Points to the '設問形態' (Question Format) section, specifically the radio button for 'IN' (Input Number), which is selected. Other options are 'SA', 'MA', and 'EA'.
- Annotation 3:** Points to the '入力範囲' (Input Range) section, specifically the '最小値(U):' field with value '6' and the '最大値(X):' field with value '120'.
- Annotation 4:** Points to the '新規追加(G)' (New Add) button.

Other visible fields and buttons include: '以前の設問・選択肢をコピーする(C)', '重複禁止(V)', '連番:', '変更(K)', '重複強制(J)', '連番:', '変更(Z)', '該当チェックする(P)', '連番:', '変更(H)', '選択肢番号:', '重複禁止選択肢(S)', '連番:', '変更(Y)', '選択肢の数: 0', '選択肢挿入(B)', '選択肢削除(D)', 'クリア(L)', and '閉じる'.

① [番号]、[設問記号]、[設問項目]を設定します。

② [設問形態]グループから[IN]を選択します。

③ [数値入力範囲]の[最小値]フィールドと[最大値]フィールドにキーボードから数値を入力し、回答を許可する数値の範囲を指定します。

- [最小値]フィールド、[最大値]フィールドには、最初それぞれ「0」「100」の値が自動的に入りますので、必要に応じて変更します。
- いくつ回答してもよい場合は、0 のままにしておきます。
- 上の例では考えられる年齢の範囲を指定します。2～3 歳の子どもがこのアンケートに回答するとは考えにくく、また 120 以上の数値が入るのは適切ではありませんので、最小値を「6」、最大値を「120」に設定しています。

④ [新規追加]ボタンをクリックします。

設定内容が[設問設定]シート、および[データ入力フォーム]シートに追加されます。また、[ソースデータ]シートにデータを転記するための列が追加されます。

自由回答設問の設定－Q4-1

具体的な語句を自由に回答する場合の設問を設定します。
自由回答設問の回答には、最大 32,000 文字まで入力できます。

例：

Q4-1. どこをどう改善すればいいと思いますか？（複数回答可）

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 1. もっと味を濃くする | 2. もっと味をマイルドにする |
| 3. もっと具の量を増やす | 4. もっと具の種類を増やす |
| 5. ルーの内容量を増やす | 6. 「甘口」「中辛」など味の種類を増やす |
| 7. その他（ | ） |

※ 設問設定の考え方

この例では、最初に「Q4-1」の設問として 7 つの選択肢を持つ複数回答設問を設定します。
そして、選択肢 7 の「その他」を選択した場合の文字による回答は、「Q4-1」に関連する別の設問として自由回答設問「Q4-1-1」を設定するのがポイントです。

① 最初に「Q4-1」の設問として 7 つの選択肢を持つ複数回答設問を設定します。

設問設定作成編集

選択肢を入力してください。
<Enter>キーで選択肢をスクロールできます。コントロールの移動は、<TAB>キー、またはマウスで行ってください。

番号(N): 10 決定(A) 設問記号(B): Q4-1 以前の設問・選択肢をコピーする(C)

設問項目(Q): 商品改善点

設問形態

☐ SA ☒ MA ☐ IN ☐ EA 選択可能選択肢数(E): 0

重複禁止(V) 連番: 変更(K)

重複強制(J) 連番: 変更(Z)

該当チェックする(P) 連番: 変更(H)

選択肢番号:

選択肢

2 もっと味をマイルドにする

3 もっと具の量を増やす

4 もっと具の種類を増やす

5 ルーの内容量を増やす

6 「甘口」「中辛」などの味の種類を増やす

選択肢の数: 7 選択肢挿入(B) 選択肢削除(D)

☐ 重複禁止選択肢(S) 連番: 変更(Y)

入力範囲 最小値(U): 最大値(X): 新規追加(G) クリア(L) 閉じる

- いくつ回答してもよいので、[選択可能選択肢数]は「0」のままにしておきます。

続いて、選択肢 7「その他」を選択した場合に、文字により回答してもらうように自由回答設問「Q4-1-1」を設定します。

- ② [番号]、[設問記号]、[設問項目]を設定します。
- ③ [設問形態]グループから[FA]を選択します。
- ④ [該当チェックする]チェックボックスをクリックし、「設問設定」ウィンドウで、Q4-1 で「その他」を選択した場合に該当するときだけこの設問に回答するように設定します。

- この例では、[設問]フィールドのドロップダウンリストから[Q4-1 商品改善点]を選択します。
- この例では、[選択肢]フィールドで[その他]を選択します。
- [OK]ボタンをクリックすると、Q4-1-1 設定中の画面の④のように表示されます。

⑤ [新規追加]ボタンをクリックします。

設定内容が[設問設定]シート、および[データ入力フォーム]シートに追加されます。また、[ソースデータ]シートにデータを転記するための列が追加されます。

以前の設問・選択肢をコピーする－Q3

入力済みの設問項目や選択肢をコピーして再利用し、新しい設問を設定します。

例：

Q3. 「オイシカレー」の感想はいかがでしたか？あてはまるものをそれぞれ選んでください。

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
Q3-1 値段	— 1 —	— 2 —	— 3 —	— 4 —	— 5 —
Q3-2 具の量	— 1 —	— 2 —	— 3 —	— 4 —	— 5 —
Q3-3 ルーの量	— 1 —	— 2 —	— 3 —	— 4 —	— 5 —
Q3-4 味（辛さ）	— 1 —	— 2 —	— 3 —	— 4 —	— 5 —
Q3-5 全体	— 1 —	— 2 —	— 3 —	— 4 —	— 5 —

※ 設問設定の考え方

ほぼ同じような設問が 5 つ並んでいます。

Q3-1 を設定し、その設問項目や選択肢をコピーして Q3-2～Q3-5 を設定します。

① 最初の設問を設定します。

設問設定作成編集

選択肢を入力してください。
<Enter>キーで選択肢をスクロールできます。コントロールの移動は、<TAB>キー、またはマウスで行ってください。

番号(N): 5 決定(A) 設問記号(B): Q3-1 以前の設問・選択肢をコピーする(C)

設問項目(Q): 満足度・値段

設問形態
☒ SA ☐ MA ☐ IN ☐ EA 選択可能選択肢数(E): 0

選択肢

1	満足
2	やや満足
3	普通
4	やや不満
5	不満

選択肢の数: 5 選択肢挿入(R) 選択肢削除(D)

☐ 重複禁止(V) 連番: 変更(K)

☐ 重複強制(J) 連番: 変更(Z)

☐ 該当チェックする(P) 連番: 変更(H)

選択肢番号:

☐ 重複禁止選択肢(S) 連番: 変更(Y)

入力範囲
最小値(U): 最大値(X): 新規追加(G) クリア(L) 閉じる

- この例では、Q3-1 を単数回答設問として設定します。

② Q3-2 を設定します。[番号]と[設問記号]を設定します。

③ [以前の設問・選択肢をコピーする]ボタンをクリックします。

設問設定作成編集

「設問記号」は半角で、「設問項目」は全角で入力してください。
コントロールの移動は、<TAB>キー、<Enter>キー、またはマウスで行ってください。

② 番号(N): 6 決定(A) 設問記号(B): Q3-2 ③ 以前の設問・選択肢をコピーする(C)

設問項目(Q):

☐ 重複禁止(V)

「設問コピー」ウィンドウが表示されます。

④ コピー元の設問を選択し、コピー内容を指定して、[OK]ボタンをクリックします。

- [設問]フィールドのドロップダウンリストからコピー元となる設問を選択すると、[選択肢]の欄にその設問に設定されている選択肢が参考として表示されます。
- [設問文をコピーする]チェックボックスをオンにすると、設問項目がコピーされます。
[選択肢をコピーする]チェックボックスをオンにすると、選択肢がコピーされます。
両方をコピーすることもできます。
- コピーした設問項目および選択肢の文は、後で「設問設定作成編集」ウィンドウで編集することができます。
- この例では、[設問]フィールドのドロップダウンリストから[Q3-1 満足度・値段]を選択します。
- この例では、[その他][選択肢をコピーする]を選択します。

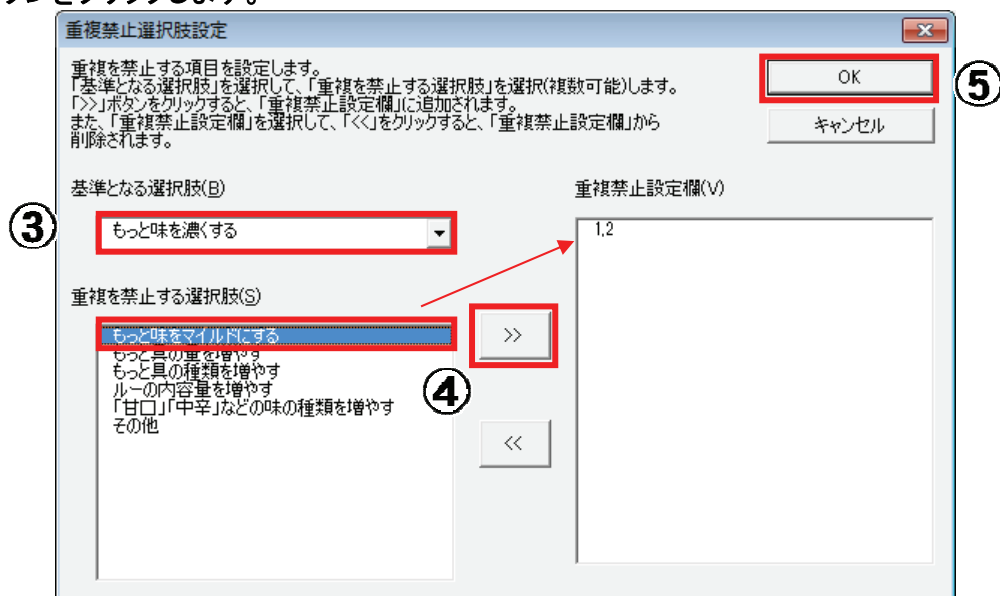
⑤ 必要に応じて、コピーした設問項目および選択肢の文を編集します。

⑥ [新規追加]ボタンをクリックします。

設定内容が[設問設定]シート、および[データ入力フォーム]シートに追加されます。また、[ソースデータ]シートにデータを転記するための列が追加されます。

⑦ 同様に Q3-3 から Q3-5 までを設定します。

- ③ [基準となる選択肢]フィールドのドロップダウンリストから、重複を禁止する一方の選択肢を選択します。
- ④ 基準となる選択肢とは一緒に選択できない選択肢を、[重複を禁止する選択肢]フィールドから選択し、[>>]ボタンをクリックします。
[重複禁止設定欄]に、同時に選択できない選択肢の組み合わせが表示されます。
- ⑤ [OK]ボタンをクリックします。



- ④で複数の選択肢を選択して[>>]ボタンをクリックすることができます。
- ③～④の操作を繰り返して、複数の組み合わせを設定できます。
- [OK]ボタンをクリックすると、選択した設問の連番、および選択肢番号が「設問設定作成編集」ウィンドウに表示されます。

☒ 重複禁止選択肢(S)

連番: 1,2
 変更(Y)

- ⑥ [新規追加]ボタン(再編集の場合は[変更適用]ボタン)をクリックします。
設定内容が[設問設定]シート、[データ入力フォーム]シート、[ソースデータ]シートに追加されます。

設問間での重複禁止の設定－Q2

異なる設問で同じ選択肢を回答することを禁止するように設定します。集計のときに、この禁止事項に該当する回答を他と区別し、処理方法を検討することができます。

選択肢の中から順位づけして複数回答する場合などにこの設定をします。

例：

Q2. なぜ「オイシカレースペシャル」を購入していただきましたか？

もっともあてはまるものから順に3つ選んでください。

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 前回食べておいしかったから | 2. 店で試食をしておいしかったから |
| 3. 値段が安かったから | 4. お店の人に勧められて |
| 5. 友人に勧められて | 6. 評判が良かったから |
| 7. パッケージが気に入ったか | 8. TVコマーシャルを見て |

※ 設問設定の考え方

Q2 は一見すると複数回答 (MA) に見えます。

しかし、この例のように、単に3つ選ぶだけではなく順位も合わせて聞いているような設問の場合は、ひとつの複数回答にせず、3つの単数回答に分割し、重複禁止の設定をします。

① 1 番目の順位の回答を求める設問を、単数回答設問として設定します。

② 2 番目の順位の回答を求める設問を、単数回答設問として設定します。

設問設定作成編集

選択肢を入力してください。
 <Enter>キーで選択肢をスクロールできます。コントロールの移動は、<TAB>キー、またはマウスで行ってください。

② 番号(N): 3 決定(A) 設問記号(B): Q2-2 以前の設問・選択肢をコピーする(C)

設問項目(Q): 購入理由・2番目

設問形態
☒ SA ☐ MA ☐ IN ☐ EA 選択可能選択肢数(E): 0

③ 重複禁止(V)

重複強制(J)
 連番: 変更(K)

該当チェックする(P)
 連番: 変更(H)
 選択肢番号:

選択肢
 1 前回食べておしかったから
 2 店で試食をしておしかったから
 3 値段が安かったから
 4 お店の人に勧められて
 5 友人に勧められて
 選択肢の数: 8 選択肢挿入(B) 選択肢削除(D)

重複禁止選択肢(S)
 連番: 変更(Y)

入力範囲
 最小値(U): 最大値(X): 新規追加(G) クリア(L) 閉じる

- 設問項目や選択肢は何度も同じ文字列を入力するのは手間ですので、設問・選択肢をコピーする機能を用いて設定します。
- これは「2番目の理由」であり、「1番目の理由(Q2-1)」と同じ選択肢が選択されるのは適切ではありません。ここではQ2-2に対して「重複禁止」の設定を行い、Q2-1と同じ選択肢が選択されるのを防ぎます。

③ [重複禁止]チェックボックスをクリックしてオンにします。

「設問選択」ウィンドウが表示されます。

④ 「設問選択」ウィンドウで、どの設問と回答が重複することを禁止するのかを指定し、[OK]ボタンをクリックします。

設問選択

設問を選択してください。
 設問は複数選択可能です。

OK
 キャンセル

設問(Q):
 Q1購入回数
 Q2-1購入理由・1番目

- 重複を禁止する設問は、すでに設定している設問(設定中の設問より番号が小さい設問)から選択できます。
- 設問は複数個選択できます。
- 重複禁止設問を選択して「OK」ボタンをクリックすると、選択した設問の連番が元のウィンドウに設定されます。

設問設定作成編集

選択肢を入力してください。
<Enter>キーで選択肢をスクロールできます。コントロールの移動は、<TAB>キー、またはマウスで行ってください。

番号(N): 3 決定(A) 設問記号(B): Q2-2 以前の設問・選択肢をコピーする(C)

設問項目(Q): 購入理由・2番目

設問形態
☒ SA ☐ MA ☐ IN ☐ EA 選択可能選択肢数(E): 0

選択肢
1 前回食べておしかったから
2 店で試食をしておしかったから
3 値段が安かったから
4 お店の人に勧められて
5 友人に勧められて
選択肢の数: 8 選択肢挿入(R) 選択肢削除(D)

☐ 重複禁止選択肢(S)
連番: 変更(Y)

入力範囲
最小値(U): 最大値(X): 新規追加(G) クリア(L) 開じる

☒ 重複禁止(V)
連番: 2 変更(K)

☐ 重複強制(J)
連番: 変更(Z)

☐ 該当チェックする(P)
連番: 変更(H)
選択肢番号:

⑤ [新規追加]ボタンをクリックして、設問を[設問設定]シート、[データ入力フォーム]シート、[ソースデータ]シートに追加します。

⑥ 同様に手順②～⑤の操作を行って、3 番目の順位の回答を求める設問を単数回答設問として設定します。

- この例では、3 番目の回答は、1 番目の回答 (Q2-1) および 2 番目の回答 (Q2-2) と選択肢が重なっては不適切ですので、このように設定します。

設問選択

設問を選択してください。
設問は複数選択可能です。

OK キャンセル

設問(Q)
Q1購入回数
Q2-1購入理由・1番目
Q2-2購入理由・2番目

設問設定作成編集

選択肢を入力してください。
<Enter>キーで選択肢をスクロールできます。コントロールの移動は、<TAB>キー、またはマウスで行ってください。

番号(N): 4 決定(A) 設問記号(B): Q2-3 以前の設問・選択肢をコピーする(C)

設問項目(Q): 購入理由・3番目

設問形態
☒ SA ☐ MA ☐ IN ☐ EA 選択可能選択肢数(E): 0

選択肢
1 前回食べておしかったから
2 店で試食をしておしかったから
3 値段が安かったから
4 お店の人に勧められて
5 友人に勧められて
選択肢の数: 8 選択肢挿入(R) 選択肢削除(D)

☒ 重複禁止(V)
連番: 2,3 変更(K)

☐ 重複強制(J)
連番: 変更(Z)

☐ 該当チェックする(P)
連番: 変更(H)
選択肢番号:

重複強制の設定-Q4-2

異なる設問の回答に同じ選択肢が必ず含まれていなければならない、という設定を行います。

前の設問で回答した選択肢をから、その次の設問で絞り込んで回答する、といった場合などが該当します。

例：

Q4. Q3-5.で「4（やや不満）」または「5（不満）」と答えた人におたずねします。

Q4-1. どこをどう改善すればいいと思いますか？（複数回答可）

1. もっと味を濃くする
2. もっと味をマイルドにする
3. もっと具の量を増やす
4. もっと具の種類を増やす
5. ルーの内容量を増やす
6. 「甘口」「中辛」など味の種類を増やす
7. その他()

Q4-2. 「Q4-1」で選択された理由のうち、最も重要だと思うものをひとつ選んでください。

※ 設問設定の考え方

Q4-2(単数回答) は、**Q4-1(複数回答)** で選択した選択肢の中から選ばなければなりません。
この場合、**Q4-2** で重複強制の設定をします。

設問設定作成編集

「設問記号」は半角で、「設問項目」は全角で入力してください。
 コントロールの移動は、<TAB>キー、<Enter>キー、またはマウスで行ってください。

①

番号(N): 決定(A) 設問記号(B):

設問項目(Q):

設問形態

☒ SA
 ☐ MA
 ☐ IN
 ☐ EA

選択可能選択肢数(E):

選択肢

1	もっと味を濃くする
2	もっと味をマイルドにする
3	もっと具の量を増やす
4	もっと具の種類を増やす
5	ルーの内容量を増やす

選択肢の数: 7

②

☐ 重複禁止(Y)

☒ 重複強制(J)

連番:

連番:

③

☐ 重複禁止選択肢(S)

連番:

④

入力範囲

最小値(L): 最大値(X):

⑤

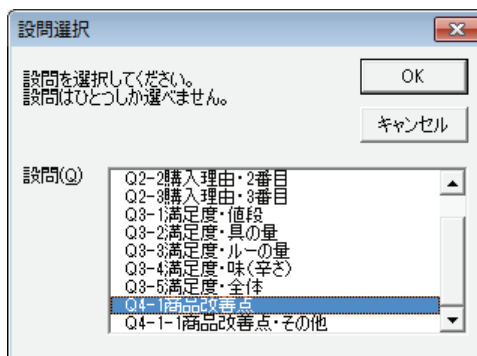
① Q4-2 の[番号]、[設問記号]、[設問項目]、[設問形態]を設定します。

- Q4-2 は Q4-1 と同じ選択肢でなければならないので、設問・選択肢をコピーする機能を用いて選択肢をコピーします。
- Q4-2 は「最も重要だと思うものをひとつだけ選ぶ」単数回答の設問なので、設問形態を単数回答に変更します。

② [重複強制]チェックボックスをクリックしてオンにします。

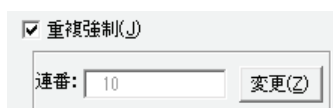
「設問選択」ウィンドウが表示されます。

③ 「設問選択」ウィンドウで、設定中の設問と回答が重複しなければならない設問を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



- 設問はひとつしか選択できません。

- 重複強制設問を選択して「OK」ボタンをクリックすると、選択した設問の連番が「設問設定作成編集」ウィンドウに表示されます。



④ 必要に応じて他の設定を行います。

⑤ [新規追加]ボタン(再編集の場合は[変更適用]ボタン)をクリックします。

設定内容が[設問設定]シート、[データ入力フォーム]シート、[ソースデータ]シートに追加されます。

該当チェックの設定

アンケートでは、前の設問での回答内容により、その次の設問に回答したりしなかったりすることがあります。後の設問に回答できる状態を「該当」とよび、回答する必要がなくなった状態を「**非該当**」と呼んでいます。

該当チェックの設定機能では、設定中の設問にどのような場合に回答するのかを設定し、集計に活かします。

例：

Q3. 「オイシカレー」の感想はいかがでしたか？あてはまるものをそれぞれ選んでください。

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
Q3-1 値段	— 1 —	— 2 —	— 3 —	— 4 —	— 5 —
Q3-2 具の量	— 1 —	— 2 —	— 3 —	— 4 —	— 5 —
Q3-3 ルーの量	— 1 —	— 2 —	— 3 —	— 4 —	— 5 —
Q3-4 味（辛さ）	— 1 —	— 2 —	— 3 —	— 4 —	— 5 —
Q3-5 全体	— 1 —	— 2 —	— 3 —	— 4 —	— 5 —

Q4. **Q3-5. で「4（やや不満）」または「5（不満）」と答えた人におたずねします。**

Q4-1. どこをどう改善すればいいと思いますか？（複数回答可）

1. もっと味を濃くする
2. もっと味をマイルドにする
3. もっと具の量を増やす
4. もっと具の種類を増やす
5. ルーの内容量を増やす
6. 「甘口」「中辛」など味の種類を増やす

7. その他（ ）

※ 設問設定の考え方

この例では、Q3-5(商品の感想・全体)で「4(やや不満)」または「5(不満)」と答えた人だけが Q4 を回答するようになっています。

逆に Q3-6 で「1(満足)」「2(やや満足)」「3(普通)」のいずれかを選択した人や、Q3-6 に回答を記入していない人は、Q4 に回答する必要がないわけです。

Q4-1 の回答は、Q3-5 で「4(やや不満)」または「5(不満)」を回答した場合に該当するように設定します。

- ① Q4-1 の[番号]、[設問記号]、[設問項目]、[設問形態]を設定します。
- ② [該当チェックする]チェックボックスをクリックしてオンにします。
「設問選択」ウィンドウが表示されます。
- ③ [設問]フィールドのドロップダウンリストから、該当チェックの基準となる設問を選択します。
その設問に用意されている選択肢の一覧が[選択肢]フィールドに表示されます。
- ④ 設定中の設問に回答することが該当する選択肢を、[選択肢]フィールドから選択します。
- ⑤ [OK]ボタンをクリックします。

- [設問]フィールドでは、単数回答設問、複数回答設問のどちらでも選択できます。
- 選択肢は、複数選択できます。
- [OK]ボタンをクリックすると、選択した設問の連番、および選択肢番号が「設問設定作成編集」ウィンドウに表示されます。

- ⑥ [新規追加]ボタン(再編集の場合は[変更適用]ボタン)をクリックします。
設定内容が[設問設定]シート、[データ入力フォーム]シート、[ソースデータ]シートに追加されます。

4. 設問の挿入・修正・削除

設定済み設問の修正

設定済みの設問を修正したい場合は、次の操作で「設問設定作成編集」ウィンドウにその設問を表示し、内容を変更することができます。

- ①「設問設定作成編集」ウィンドウの[番号]に、設定済みの設問の番号を入力し[決定]ボタンをクリックします。

- ② メッセージが表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。

手順①で指定した番号の設問が「設問設定作成編集」ウィンドウに表示されます。

- ③ 必要に応じて設問の内容を変更します。
④ [変更適用]ボタンをクリックします。

設定内容が[設問設定]シート、[データ入力フォーム]シート、[ソースデータ]シートに反映されます。

設定済み設問の削除

設定済みの設問を削除できます。次の操作で「設問設定作成編集」ウィンドウにその設問を表示し、内容を確認してから削除します。

- ①「設問設定作成編集」ウィンドウの[番号]に、削除対象の設問の番号を入力し[決定]ボタンをクリックします。

- ② メッセージが表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。

手順①で指定した番号の設問が「設問設定作成編集」ウィンドウに表示されます。

- ③ 削除する設問であることを確認します。
④ [設問削除]ボタンをクリックします。

- ⑤ 削除の確認メッセージが表示されるので、[はい]ボタンをクリックします。

設問が[設問設定]シート、[データ入力フォーム]シート、[ソースデータ]シートから削除されます。後続の設問の連番を、ひとつずつずらします。

⑥「設問記号変更」ウィンドウが表示されるので、変更方法を指定し、[OK]ボタンをクリックします。

設問記号更新

更新したい設問記号の階層を指定してください。
挿入/削除した設問より後ろの設問記号に関して、指定された階層の番号をひとつづつずらします。
ずらす作業が不要の場合は「キャンセル」ボタンを押してください。

挿入/削除した設問記号: Q1

操作したい階層(L): 11

操作する方向 ☐ 増やす(U) ☒ 減らす(D)

OK キャンセル

- 「操作したい階層」の「階層」とは、設問記号の枝番のことを表しています。



- 例えば削除したい設問が Q2で、次の設問がQ3である場合は、次の設問の第1階層を減らす処理が必要となります(Q3 → Q2)。
- または、削除したい設問が Q2-2で、次の設問がQ2-3である場合は、次の設問の第2階層を減らす処理が必要となります(Q2-3 → Q2-2)。

設問の挿入

入力済みの設問と設問の間に、新たな設問を挿入することができます。

- ①「設問設定作成編集」ウィンドウの[番号]に、削除対象の設問の番号を入力し[決定]ボタンをクリックします。

設問設定作成編集

連番を入力し、<Enter>キーまたは「決定」ボタンを押してください。
新規追加は<Enter>だけでかまいません。

番号(N): 1 決定(A) 設問記号(B): 以前の設問・選択肢をコピーする(C)

設問項目(Q): 重複禁止(V)

- ② メッセージが表示されたら、[いいえ]ボタンをクリックします。

田園V2

? 連番 1 はすでに存在します。設問項目：「購入理由・1番目」置き換えますか？
(はい=修正 いいえ=新設問を挿入)

はい(Y) いいえ(N) キャンセル

手順①で指定した番号の設問が「設問設定作成編集」ウィンドウに表示されます。

設問設定作成編集

「設問記号」は半角で、「設問項目」は全角で入力してください。
コントロールの移動は、<TAB>キー、<Enter>キー、またはマウスで行ってください。

番号(N): 1 決定(A) 設問記号(B): 01 以前の設問・選択肢をコピーする(C)

設問項目(Q):

設問形態
☐ SA ☐ MA ☐ IN ☐ EA 選択可能選択肢数(E): 0

選択肢
1
2
3
4
5

選択肢数: 選択肢挿入(R) 選択肢削除(D)

☒ 重複禁止(V) 連番: 変更(K)

☐ 重複強制(J) 連番: 変更(Z)

☐ 該当チェックする(P) 連番: 変更(H)
選択肢番号:

☐ 重複禁止選択肢(S) 連番: 変更(Y)

入力範囲
最小値(U): 最大値(X): 挿入追加(G) クリア(L) 閉じる

③ 設問を設定し、[挿入追加]ボタンをクリックします。

設問設定作成編集

選択肢を入力してください。
<Enter>キーで選択肢をスクロールできます。コントロールの移動は、<TAB>キー、またはマウスで行ってください。

番号(N): 1 決定(A) 設問記号(B): Q1 以前の設問・選択肢をコピーする(C)

設問項目(Q): 購入回数

設問形態
☒ SA ☐ MA ☐ IN ☐ EA 選択可能選択肢数(E): 0

選択肢
 1 はじめて
 2 2回目
 3 3回目
 4 4回目
 5 5回目以上
 選択肢の数: 5 選択肢挿入(B) 選択肢削除(D)

☐ 重複禁止(V)
連番: 変更(K)

☐ 重複強制(J)
連番: 変更(Z)

☐ 該当チェックする(P)
連番: 変更(H)
選択肢番号:

☐ 重複禁止選択肢(S)
連番: 変更(Y)

入力範囲
 最小値(U): 最大値(X): 挿入追加(G) クリア(L) 閉じる

④ 「設問記号変更」ウィンドウが表示されるので、変更方法を指定し、[OK]ボタンをクリックします。

設問記号更新

更新したい設問記号の階層を指定してください。
 挿入/削除した設問より後の設問記号に関して、指定された階層の番号をひとつづつずらします。
 ずらす作業が不要の場合は「キャンセル」ボタンを押してください。

挿入/削除した設問記号: Q1

操作したい階層(L): 1

操作する方向
☒ 増やす(U) ☐ 減らす(D)

OK キャンセル

設問が装入され、[設問設定]シート、[データ入力フォーム]シート、[ソースデータ]シートに反映されます。

選択肢の挿入

「設問設定作成編集」ウィンドウの[選択肢]欄の選択肢と選択肢の間、新しい選択肢を挿入できます。

①「設問設定作成編集」ウィンドウの[選択肢挿入]ボタンをクリックします。

設問形態
☒ SA ☐ MA ☐ IN ☐ EA 選択可能選択肢数(E): 0

選択肢

1	はじめて
2	2回目
3	4回目
4	5回目以上
5	

選択肢の数: 4

選択肢挿入(R) 選択肢削除(D)

② 挿入位置の番号を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

田園V2

挿入したい選択肢の番号を入力してください。
(範囲選択はできません。)

3

OK キャンセル



設問形態
☒ SA ☐ MA ☐ IN ☐ EA 選択可能選択肢数(E): 0

選択肢

1	はじめて
2	2回目
3	
4	4回目
5	5回目以上

選択肢の数: 5

選択肢挿入(R) 選択肢削除(D)

選択肢の入力欄が挿入されます。

- このあと選択肢の内容を入力します。

選択肢の削除

「設問設定作成編集」ウィンドウの[選択肢]欄の選択肢を削除できます。

①「設問設定作成編集」ウィンドウの[選択肢削除]ボタンをクリックします。

設問形態
☒ SA ☐ MA ☐ IN ☐ EA
選択可能選択肢数(E): 0

選択肢

1	はじめて
2	1回目
3	2回目
4	3回目
5	4回目

選択肢の数: 6

選択肢挿入(R) **選択肢削除(D)**

② 削除する選択肢の位置を番号で入力し、[OK]ボタンをクリックします。

田園V2

削除したい選択肢の番号を入力してください。
(最後の選択肢は削除できません。また、範囲選択はできません。)

2

OK キャンセル

設問形態
☒ SA ☐ MA ☐ IN ☐ EA
選択可能選択肢数(E): 0

選択肢

1	はじめて
2	2回目
3	3回目
4	4回目
5	5回目以上

選択肢の数: 5

選択肢挿入(R) **選択肢削除(D)**

選択肢が削除されます。

- 選択肢の位置が、ひとつずつずれます。

第3章 手作業による再構成

各シートは Excel のワークシートそのものなので、必要に応じて手作業で追加や修正を行うことができます。3つのシート([設問設定]、[データ入力フォーム]、[ソースデータ])間で整合性がとれていなければ、アンケートの入力・集計が正しく行われませんので、注意が必要です。



シートを手作業で修正した場合や、アンケート案件を他のツールから持ち込んだ場合などは、シート間の整合性がきちんととれなくなる可能性があります。
シート間の整合性を保つため、できるだけ「設問設定作成編集」メニューを使って修正してください。

手作業で[設問設定]シート、[データ入力フォーム]シート、[ソースデータ]シートを再構成するときは、次の流れで行います。

1. [設問設定] シートを編集する (🔗 34 ページ)



2. [設問・選択肢一覧] シートで設問設定の内容を確認する (🔗 38 ページ)



3. [データ入力フォーム] シートを再作成する (🔗 34 ページ)
「データ入力フォーム再作成」機能により、[設問設定]シートを基にして
[データ入力フォーム]シートを再作成します。



4. [ソースデータ] シートを再作成する (🔗 43 ページ)
「ソースデータシート再作成」機能により、[設問設定]シートを基にして
[ソースデータ]シートを再作成します。

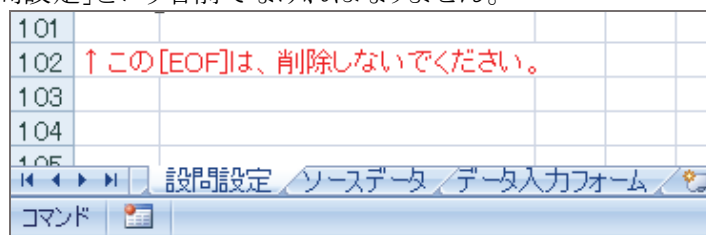
1. 「設問設定」シートの編集

「設問設定作成編集」メニューを使って「設問設定」シートを作ると、次の仕様が満たされたワークシートができあがります。「設問設定」シートは通常の Excel のワークシートですので、手作業で作成、および修正をすることができます。

次の要件を満たすように、Excel の機能を利用して手作業で「設問設定」シートを編集します。

シート名

- シート名は「設問設定」という名前ではなりません。



A 列

- A 列(1 列目)は、1 から始まる連番でなければなりません。ただしこの連番は、ひとつの設問(設問内容、および選択肢)内で同じ番号である必要があります。
- 最後の行は、半角で「[EOF]」と入力されている必要があります。

B 列

- B 列(2 列目)は、設問内容および選択肢です。
- 設問内容は、設問番号(半角)＋設問文(全角) というスタイルでなければなりません。設問番号と設問文との間に空白文字があってははいけません。
(例: Q1 購入回数)
- 選択肢は半角、全角を問いません。ひとつの選択肢あたり 1 行を使用します。
- 設問文と選択肢、前の設問と次の設問との間に空白行があってははいけません。

C 列

- C 列(3 列目)は、設問内容が記述されている行のみ使用します。
- その設問の回答種別に従って、次のいずれかの文字を 1 文字だけ入力します。

単数回答	… S
複数回答	… M
数量回答	… I
自由回答	… F
- 「S」「M」「I」「F」は、半角大文字でなければなりません(大文字、小文字は問いません)。また「S」「M」「I」「F」以外の文字があってははいけません。例えば、「SA」と記述されていても、「S」とみなしません。「QA」など、関係ない文字列は完全に無視します。

D 列

- D 列(4 列目)は、入力可能な範囲の最小値を表します。
- 具体的には次の値です。

単数回答	… 必ず1
複数回答	… 必ず1
数量回答	… 入力可能な最小値
- また、自由回答の場合は、自動的に「A」が入ります。

E 列

- E列(5 列目)は、入力可能な範囲の最大値を表します。
- 具体的には次の値です。

単数回答	…	選択肢の数
複数回答	…	選択肢の数
数量回答	…	入力可能な最大値
- 自由回答の場合は使用しません。

F 列

- F列(6 列目)は、重複禁止設問の番号が入ります。
- 複数の設問を指定する場合は、設問の連番半角カンマ(,)でつなぎます。

G 列

- G列(7 列目)は、重複強制設問の番号が入ります。
- 数値はひとつしか入力できません。

H 列

- H列(8 列目)は、該当チェックの元になる設問の連番を半角で入力します。
- 数値はひとつしか入力できません。

I 列

- I列(9 列目)は、該当チェックの対象となる選択肢の番号を半角で入力します。
- 複数の選択肢を指定する場合は、選択肢番号を半角カンマ(,)でつなぎます。

J 列

- J列(10 列目)は、複数回答の場合のみに使用します。
- 複数回答の回答可能数が指定されている場合、回答可能数を半角で入力します。

最終的に、このような「設問設定」シートが完成します。

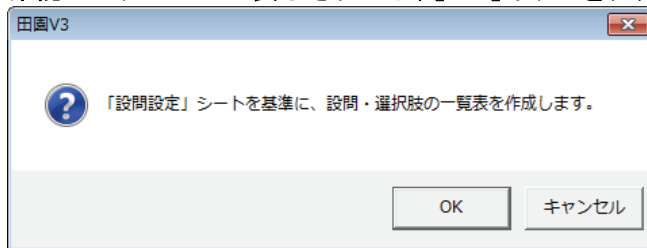
1	Q1 購入回数	S	1	5						
1	はじめて									
1	2 回目									
1	3 回目									
1	4 回目									
1	5 回目以上									
2	Q2-1 購入理由・1 番目	S	1	8						
2	前回食べておいしかったから									
2	店で試食をしておいしかったから									
2	値段が安かったから									
2	お店の人に勧められて									
2	友人に勧められて									
2	評判が良かったから									
2	パッケージが気に入ったから									
2	TV コマーシャルを見て									
3	Q2-2 購入理由・2 番目	S	1	8	2					
3	前回食べておいしかったから									
3	店で試食をしておいしかったから									
3	値段が安かったから									
3	お店の人に勧められて									
3	友人に勧められて									
3	評判が良かったから									
3	パッケージが気に入ったから									
3	TV コマーシャルを見て									
4	Q2-3 購入理由・3 番目	S	1	8	2,3					
4	前回食べておいしかったから									
4	店で試食をしておいしかったから									
4	値段が安かったから									
4	お店の人に勧められて									
4	友人に勧められて									
4	評判が良かったから									
4	パッケージが気に入ったから									
4	TV コマーシャルを見て									
5	Q3-1 満足度・値段	S	1	5						
5	満足									
5	やや満足									
5	普通									
5	やや不満									
5	不満									
6	Q3-2 満足度・具の量	S	1	5						
6	満足									
6	やや満足									
6	普通									
6	やや不満									
6	不満									
7	Q3-3 満足度・ルーの量	S	1	5						
7	満足									
7	やや満足									
7	普通									
7	やや不満									

7	不満								
8	Q3・4 満足度・味	S	1	5					
8	満足								
8	やや満足								
8	普通								
8	やや不満								
8	不満								
9	Q3・5 満足度・全体	S	1	5					
9	満足								
9	やや満足								
9	普通								
9	やや不満								
9	不満								
10	Q4・1 商品改善点	M	1	7		9	4,5		1,2
10	もっと味を濃くする								
10	もっと味をマイルドにする								
10	もっと具の量を増やす								
10	もっと具の種類を増やす								
10	ルーの内容量を増やす								
10	味の種類を増やす								
10	その他								
11	Q4・1-1 商品改善点・その他	F	A			10	7		
12	Q4・2 商品改善点・最重要点	S	1	7		10	9	4,5	
12	もっと味を濃くする								
12	もっと味をマイルドにする								
12	もっと具の量を増やす								
12	もっと具の種類を増やす								
12	ルーの内容量を増やす								
12	味の種類を増やす								
12	その他								
13	Q5 よく買う簡単調理食品	M	1	13					3
13	レトルトカレー								
13	レトルトスパゲッティ								
13	レトルトやきそば								
13	レトルトおでん								
13	冷凍コロッケ								
13	冷凍ハンバーグ								
13	冷凍ピラフ								
13	冷凍ポテトフライ								
13	冷凍魚フライ								
13	インスタントラーメン								
13	インスタントやきそば								
13	インスタントうどん・そば								
13	その他								
14	Q5・1 よく買う簡単調理食品・その他	F	A			13	13		
15	Q6 年齢	I	6	120					
16	Q7 性別	S	1	2					
16	男性								
16	女性								
[EOF]									
↑この[EOF]は、削除しないでください。									

2. 「設問・選択肢一覧」シートによる設問設定の確認

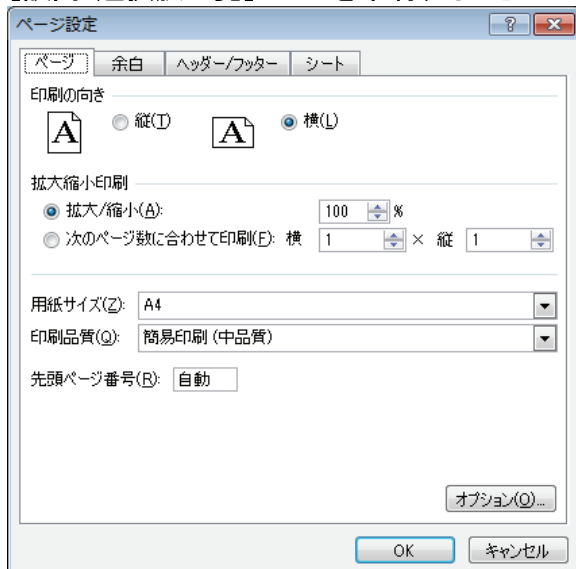
次の操作で「設問・選択肢一覧」シートを作成し、「設問設定」シートが正しく作成されているかどうかを確認できます。

- ① [田園 V3]－[設問設定・データ入力]－[設問一覧作成]－[設問・選択肢一覧作成]を選択します。
 - この作業を行うためには、「設問設定」シートに設問が定義されていなければいけません。
- ② 確認のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



「設問・選択肢一覧」シートが作成されます。

- ⑥ [設問・選択肢一覧]シートを印刷するときのページ設定を行います。



- ⑦ [OK]ボタンをクリックします。

「設問・選択肢一覧」シートに設問と選択肢(カテゴリー)の内容が見やすい一覧表形式で表示され

田園V3サンブル.xls [互換モード] - Microsoft Excel

ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 アドイン Acrobat

田園V3

メニュー コマンド

M108

設問<データ形態>・カテゴリー一覧

<S>:単数回答 <I>:数値回答 <M>:複数回答 <F>:自由回答

No.	設 問	カテゴリー
1	【Q1】購入回数<S>	(1) はじめて (2) 2回目 (3) 3回目 (4) 4回目 (5) 5回目以上
2	【Q2-1】購入理由・1番目<S>	(1) 前回食べておいしかったから (2) 店で試食をしておしかったから (3) 値段が安かったから (4) お店の人に勧められて (5) 友人に勧められて (6) 評判が良かったから (7) パッケージが気に入ったから (8) TV コマーシャルを見て
3	【Q2-2】購入理由・2番目<S>	(1) 前回食べておいしかったから (2) 店で試食をしておしかったから (3) 値段が安かったから (4) お店の人に勧められて (5) 友人に勧められて (6) 評判が良かったから

コマンド

⑧「設問・選択肢一覧」シートを見て、設問番号や設問文、設問の形態(S、M、I、F)、選択肢の数や選択肢文などにおかしいところがないかどうかチェックします。

- [設問設定]シートを直接チェックするより効率よく確認できます。
- 必要に応じて、このシートを報告書に利用したり、アンケート用紙として利用したりすることもできます。

3. 「データ入力フォーム」シートの再作成

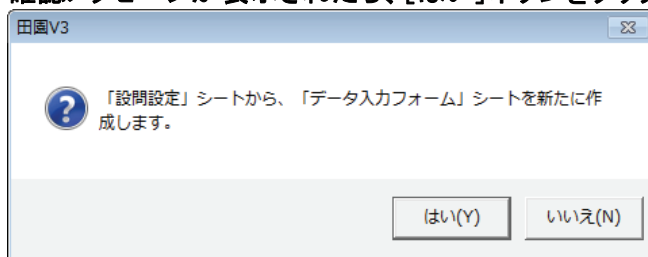
「設問設定」シートを手作業で編集した場合は、「設問設定」シートと「データ入力フォーム」シートとの整合性がとれなくなります。次の操作を行って、編集した「設問設定」シートを基にして「データ入力フォーム」シートを再作成します。



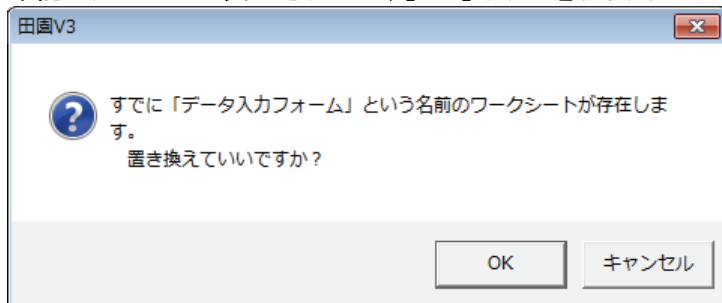
「畦道 V2」「田園 V2」の「設問設定」シートおよび「ソースデータ」シートは、そのまま「田園 V3」でも使えます。しかし、「データ入力フォーム」シートは、互換性がありません。「畦道 V2」「田園 V2」で作ったファイルを「田園 V3」で扱う場合は、「データ入力フォーム」シートを再作成してください。

① 「田園 V3」－「設問設定・データ入力」－「データ入力・操作」－「データ入力フォーム再作成」を選択します。

② 確認メッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックします。

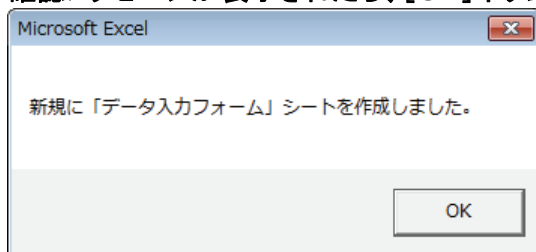


③ 確認メッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。



「設問設定」シートを基にして「データ入力フォーム」シートが再作成されます。

④ 確認メッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。



再作成された「データ入力フォーム」シートは、「データ入力フォーム」シートが表示されます(🔗 次ページ参照)。

▼再作成された[データ入力フォーム]シート

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
1	No.	設問	種	Min	Max	重複禁止	強制	該当処理	選択肢重複禁	サンプルNo.	←Enter>のみで新規サンプル									
2	1	Q1	購入回数	S	1	5														
3	2	Q2-1	購入理由・1番目	S	1	8														
4	3	Q2-2	購入理由・2番目	S	1	8	2													
5	4	Q2-3	購入理由・3番目	S	1	8	2,3													
6	5	Q3-1	満足度・値段	S	1	5														
7	6	Q3-2	満足度・具の量	S	1	5														
8	7	Q3-3	満足度・ルーの量	S	1	5														
9	8	Q3-4	満足度・味	S	1	5														
10	9	Q3-5	満足度・全体	S	1	5														
11	10	Q4-1	商品改善点	M	1	7			9	4.5	1.2									
12	11	Q4-1	商品改善点・その他	F	A				10	7										
13	12	Q4-2	商品改善点・最重要	S	1	7		10	9	4.5										
14	13	Q5	よく買う簡単調理食品	M	1	13														
15	14	Q5-1	よく買う簡単調理食品	F	A				13	13										
16	15	Q6	年齢	I	6	120														
17	16	Q7	性別	S	1	2														

[データ入力フォーム] シートの内容

[データ入力フォーム]シートは、次のようになっています。

A列

- A列(1列目)には設問番号が入ります。この設問番号は、[設問設定]シートの設定と同じでなければなりません。

B列

- B列(2列目)には設問記号が入ります。
- 列幅は変更できますので、もし設問記号が長すぎて表示し切れない場合は、適宜調節してください。

C列

- C列(3列目)には設問項目が入ります。
- 列幅は変更できますが、この列幅をあまり長くするのはお勧めできません。どの設問を入力しているか確認するには、設問記号をご覧になるほうがスムーズに作業を行うことができます。

D列

- D列(4列目)は、その設問の回答種別(S、M、I、Fのいずれか)が入ります。「S」「M」「I」「F」は、半角大文字でなければなりません。

E 列

- E列(5 列目)は、入力可能な範囲の最小値を表します。
- 具体的には次の値です。

単数回答	…	必ず1
複数回答	…	必ず1
数量回答	…	入力可能な最小値
- また、自由回答の場合は、自動的に「A」が入ります。この「A」という文字があれば、自由回答を入力する際に自動的に日本語入力機能がオンになります。文字「A」を「Delete」キーなどで削除すれば、日本語入力機能がオンになりません。

F 列

- F列(6 列目)は、入力可能な範囲の最大値を表します。
- 具体的には次の値です。

単数回答	…	選択肢の数
複数回答	…	選択肢の数
数量回答	…	入力可能な最大値
- 自由回答の場合は使用しません。

G 列

- G列(7 列目)は、重複禁止設問の番号が入ります。
- 複数の設問を指定する場合は、設問の連番半角カンマ(,)でつなぎます。

H 列

- H列(8 列目)は、重複強制設問の番号が入ります。
- 数値はひとつしか入りません。

I 列

- I列(9 列目)は、該当チェックの元になる設問が入ります。
- 数値はひとつしか入りません。

J 列

- J列(10 列目)は、該当チェックの対象となる選択肢の番号が入ります。
- 複数の選択肢を指定する場合は、選択肢番号を半角カンマ(,)でつなぎます。

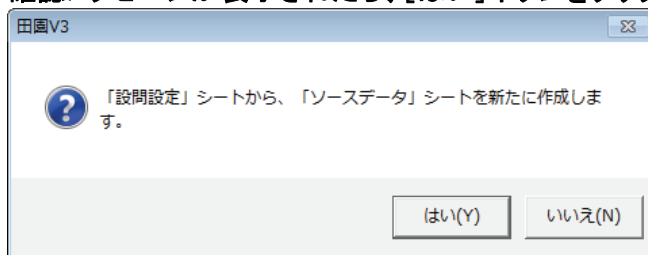
K 列以降

- K列(11 列目)以降は、実際にデータを入力する際に用います。
- 色が青に変わっているセルが入力可能なセルです。
- データ入力は、必ず[田園 V3]－[設問設定・データ入力]－[データ入力・操作]－[新規データ入力]を選択してから行ってください。

4. 「ソースデータ」シートの再作成

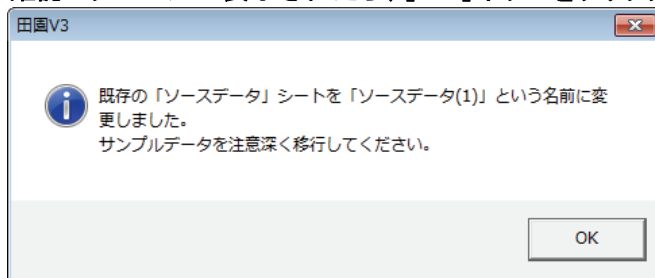
「設問設定」シートを手作業で編集した場合は、「設問設定」シートと「ソースデータ」シートとの整合性がとれなくなります。次の操作を行って、編集した「設問設定」シートを基準にして「ソースデータ」シートを再作成します。

- ① [田園 V3]－[設問設定・データ入力]－[データ入力・操作]－[ソースデータシート再作成]を選択します。
- ② 確認メッセージが表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。



元の「ソースデータ」シートの名前が変更され、新しい「ソースデータ」シートが作成されます。

- ② 確認メッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



- ③ 再作成された「ソースデータ」シートに名前を変更したシートからデータを移動します。

アンケート集計統合ツール「田園」Version 3.0マニュアル

Ⅱ 設問設定編

2010年4月1日 初版発行

製 作：テクノファイブ株式会社

発行者：テクノファイブ株式会社

〒617-0843 京都府長岡京市友岡西山17-40

TEL:075-955-7220 FAX:075-955-7240

著作権：Copyright©2010 Technofive Corporation All Rights Reserved.

本製品のプログラムおよびマニュアルは、テクノファイブ株式会社が著作権および所有権を有しています。著作権者による事前の許諾なしに、いかなる手段による全部または一部の複写、再利用、第三者への提供もしくは使用の許諾、その他の処分をすることはできません。

本製品の内容は、予告なしに変更することがあります。

- 田園、畦道、蓮華は、テクノファイブ株式会社の商標です。
- MS、Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NT、Visual Basicは、Microsoft Corporation の米国またはその他の国、あるいはその両方における登録商標または商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。